

## 第5章 県民参加型環境教育・学習の推進

今日の環境問題は、生活排水による水質汚濁や自動車の利用増大による大気汚染・騒音、消費の拡大による廃棄物の増大など身近な問題から、地球温暖化、オゾン層の破壊などの地球規模の問題まで、複雑多様化しており、これらの環境問題に対応するためには、県民一人一人が日常生活と環境との関係について理解と認識を深め、環境に配慮した責任ある行動をとることが不可欠と考えられる。

このため、家庭、学校、地域など多様な場で、それぞれ年齢階層に応じた環境教育・環境学習の推進が必要である。

### 第1節 学習機会の拡充

#### 1 環境マイスター派遣事業

県民が自主的に環境学習に取り組む際の支援制度として、県内に在住する環境活動のリーダーや研究者などを専門分野別に「環境マイスター」として登録した。地域の環境活動グループや町内会、PTAなど各種団体が学習会や講演会などを開催する場合に、マイスターを講師として派遣している。

- ・派遣先 地域環境活動グループ、PTA、自治会、その他各種団体等が行う環境学習会等で、県民を対象として、参加者が概ね20名以上で、政治、宗教及び営利を目的としないもの。
- ・申請等窓口 派遣を希望する団体等の受付や、派遣に適した環境マイスターの選定等は、愛媛県体験型環境学習センター（えひめエコ・ハウス）のエコライフ推進員が行う。
- ・登録内訳 事業系環境保全部門19人 生活環境保全部門22人 自然環境保全部門29人
- ・派遣経費 環境マイスターの派遣に要する経費（謝金）は、県が負担する。



環境マイスター活動状況

#### 2 えひめ環境大学

環境関連の専門の実務者や環境保全活動者などに、より高度な環境知識を修得してもらうため、学識経験者や環境分野の専門家を講師として迎え、専門的で質の高い講義内容の「えひめ環境大学」を実施した。平成15年度は、メインテーマを「自然再生と地域の活性化」に設定し、表2-13-1のとおり開催した。受講者は120人（特別公開講座は約140人）で、5回中4回以上の受講者には修了証書を交付した。

表2 - 13 - 1 えひめ環境大学の開催実績

年月日	演 題 及 び 講 師	場 所
15. 7. 12 (土)	「自然と人を支える土のはたらき」 京都大学名誉教授、滋賀県立大学名誉教授 久馬 一剛	特別公開講座
15. 7. 26 (土)	「縮小文明の展望」 元総務省総務審議官 月尾 嘉男	特別公開講座
15. 8. 9 (土)	「保全生態学と「自然再生」」 東京大学大学院教授 鷲谷 いづみ	特別公開講座
15. 8. 30 (土)	「えひめの自然」 えひめの植物 松山東雲短期大学教授 松井 宏光 えひめの動物 松山東雲女子大学教授 石川 和男	
15. 9. 6 (土)	「総合討論 - えひめの自然と社会 -」 愛媛県環境創造センター 所長 立川 涼	

### 3 生涯学習講座開設事業（コミュニティ・カレッジ：環境講座）

県民が心の豊かさや教養を高めるとともに、実社会において必要な知識や技術を習得するために、年齢、性別、職業などを問わず気軽に学習できる場として、豊富な学習項目と質の高い内容を備えた講座として、平成4年度からコミュニティ・カレッジを開設している。

「環境講座」は社会参画や現代社会の諸問題を解決していくための学習（特別コース）の一つとして平成12年度から実施しており、平成15年度は「自然環境保全や生活環境保全の観点から学習し、私たちのライフスタイルを考える」ことをテーマとして、表2 - 13 - 2のとおり開催した。

表2 - 13 - 2 環境講座（コミュニティ・カレッジ）の開催実績

年月日	内 容（テーマ）	講 師
H15.10.12	自然との共生を考える	松山東雲女子大学教授
H15.10.26	循環型まちづくりの一員になろう	エコロジーネットワーク協議会理事
H15.11. 9	広見川にかける夢	広見川夢の会会長
H15.11.23	石鎚山系の自然	面河山岳博物館副館長
H15.12. 7	もったいないは感謝の心	南海放送(株) アナウンサー
H15.12.21	水生昆虫から見た川の環境	松山淡水ベントス研究所主宰
H16. 1. 11	小さなことを“あなた”から	生活者グループ「ゆう・ゆう・ゆう」
H16. 1. 25	森と私たちの生活	四国森林インストラクター会長

### 4 こどもエコクラブ事業

持続可能な社会を創るためには、21世紀を担う子ども達が将来に渡り環境を大切にする意識を持ち、環境にやさしい暮らし方を実践していくことが必要であるため、環境省では、平成7年度

から「こどもエコクラブ」事業を通じて、子ども達の地域の中での主体的な環境の学習や実践活動を支援し、県では、その普及啓発を図っている。平成16年8月31日現在の登録数は、6市11町、55クラブで会員数1,266人である。

## 5 高等学校環境教育推進事業

環境教育の一層の充実を図るため、平成11年度まで実施した「地域に根ざす環境教育推進校設置事業」等の実践活動を基盤として、新たに「高等学校環境教育推進事業」を平成13年度から実施している。

この事業では、身近な環境問題に積極的に取り組み、地球的・国際的視野を持って実践することができる生徒の育成、さらにはリーダーとなる生徒の養成を目的とし、「高等学校環境教育実践研究校」の指定、「高等学校環境教育実践研究校研究協議大会」の開催、「環境教育実践活動事例集」の作成・配布を行っている。

### (1) 高等学校環境教育実践研究校

#### 概 要

平成13年度から5年間で、全日制57校のすべての高等学校で研究を進めることとしており、平成15年度は11校を環境教育実践研究校として指定した。

環境教育実践研究校は、次に示す六つの分野の中から、1分野を選び、生徒や学校の実態を踏まえた高校生にふさわしい具体的テーマを設定して、家庭や地域との連携を図りながら計画的・継続的に研究を行うこととする。

《研究分野》
ア 河川や海洋に関する分野
イ 土壌や動・植物に関する分野
ウ 酸性雨や大気に関する分野
エ 廃棄物に関する分野
オ 国際的な環境に関する分野
カ その他の分野

#### 平成15年度高等学校環境教育実践研究校の取組

環境教育実践研究校では、生徒や学校の実態を踏まえ、高校生らしい深まりのある探究活動を行うとともに、インターネット等を利用して地球規模の視点から環境問題について取り組んだ。各学校の取組は表2 - 13 - 3のとおりである。

表2 - 13 - 3

学 校 名	研究分野	研究テーマ	研 究 の 取 組 内 容
川 之 江 高 校	廃棄物に関する分野	環境にやさしい生活習慣を目指して - ゴミ処理とリサイクルについて考え、実践する -	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンセンターの見学</li> <li>・ゴミ処理とリサイクルに関するアンケート調査及び文化祭での発表、展示</li> <li>・コンポスト作り</li> </ul>
新居浜工業高校	酸性雨や大気に関する分野	新居浜に降る雨のpHの測定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸性雨の測定</li> <li>・エッチング液の廃液処理</li> <li>・車いすのリサイクル</li> <li>・分別ゴミ箱の製作</li> </ul>
丹 原 高 校	その他の分野	ともに歩む環境教育 - 心のふるさと丹原町 -	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「エコボトルガーデン」講習会</li> <li>・挿し木講習会</li> <li>・クリーン大作戦（奉仕活動）</li> <li>・校内美化活動</li> </ul>

今治北高校	廃棄物に関する分野	私たちにできる環境保護の第一歩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の公共施設の清掃活動</li> <li>・講演会「海と地球環境」</li> <li>・環境調査についての展示発表</li> <li>・クリーンセンター見学</li> </ul>
松山東高校	廃棄物に関する分野	輪を広げよう！環境にやさしい行動派人間 - ゴミの減量と節水・節電 -	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題に関するアンケート調査</li> <li>・HR活動「環境問題を考える」</li> <li>・「マツの葉から分かる松山市の大気汚染状況」研究</li> <li>・運動会廃竹材の竹炭化の試み</li> <li>・環境モニターの募集</li> </ul>
松山工業高校	その他の分野	ボランティア活動や課題研究などを通じた環境教育への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃奉仕活動</li> <li>・環境問題に関するテーマの出前講義</li> <li>・「課題研究」における各学科での研究（空き缶つぶし機、ソーラー電灯の製作など）</li> </ul>
小田高校	その他の分野	お遍路さんにやさしい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路・河川の清掃活動</li> <li>・HR活動で四国遍路について学習</li> <li>・講演会「遍路みちについて」</li> <li>・遍路みちへプランター、案内板・案内表示柱の設置</li> </ul>
中山高校	その他の分野	自分たちにできる環境保護活動への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌生物に関する調査</li> <li>・紙パックからの葉書作り</li> <li>・リサイクル土に関する研究</li> <li>・地域への花の提供活動</li> </ul>
大洲高校	河川や海洋に関する分野	よみがえれ肱龍伝説 - 肱川とともに生きるには -	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肱川流域の清掃活動</li> <li>・ケナフ種まきとケナフを使った紙すき実習</li> <li>・肱川の水生物調査</li> </ul>
宇和島東高校	土壌や動・植物に関する分野	身近な自然のエコアップ作戦 - 校内と地域を中心として -	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内中庭のスギゴケ園化</li> <li>・保手川、城山、丸山公園の清掃活動</li> <li>・野鳥の餌場、水浴び場設置の準備</li> </ul>
三間高校	廃棄物に関する分野	学校から出るゴミを減らしリサイクルしよう - ミミズを用いたゴミの有効利用 -	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミミズを使い、廃棄紙を発酵させての肥料作り</li> <li>・実験設備の製作</li> <li>・校内ごみの分別化・減量化</li> </ul>

## (2) 高等学校環境教育実践研究校研究協議大会

### 目 的

環境教育実践研究校として指定を受けた学校から代表生徒と指導教員が参加し、各学校の活動成果や課題を発表したり、研究協議や先進的な取組をしている講師による講演等を行ったりして、環境教育の改善や充実を図る。

### 大会の開催

平成16年2月17日に、愛媛県立松山北高等学校において研究協議大会を開催し、実践研究校代表生徒が各校の活動状況や成果を発表したり、「環境問題への取組から学んだこと」をテーマにパネルディスカッションを行ったりして学習を深めるとともに、環境問題を専門的に研究している愛媛大学農学部河野公栄助教授の講演を通して、新たな視点からの取組を決意することができた。

## (3) 高等学校環境教育実践活動事例集の作成・配布

各高等学校への普及と活動内容の深化を目的とし、平成15年度環境教育実践研究校11校の実践研究の結果をまとめた事例集を作成して、すべての高等学校に配布した。

各学校においては、高等学校環境教育実践活動事例集を参考に、創意工夫を生かした取組を通して、環境保全やより良い環境のために主体的に行動できる生徒の育成に努めている。

## 第2節 多様な環境情報の収集と提供

### 1 えひめの環境ホームページ

本県の環境情報を県民に広く提供するために、「えひめの環境ホームページ」を平成15年3月により見やすくリニューアルした。このホームページでは、環境施策全般に関するお知らせ、環境白書、環境関係条例、要綱、環境影響評価等の情報を提供し、随時、内容の更新を行っており、様々な環境情報を見ることができる。



U R L <http://www.pref.ehime.jp/kankyoku/k-hp/index.html>

### 2 環境地理情報システム（環境GIS）

環境白書等に掲載している本県の環境情報等を地図上に重ね合わせて提供する「環境地理情報システム（環境GIS）」を構築し、インターネット上で提供する体制を整備した。

このシステムでは、環境教育・学習の振興や県民・事業者による環境保全活動の活性化を目的として、大気、水質等の観測データ、各種規制区域、自然公園区域等の区域データ、えひめ自然100選等の施設データ、文化財の名称・関連資料などの情報を、地図上のポイントをクリックすることにより呼び出すことができる。

U R L <http://envgisv02.pref.ehime.jp/>

### 3 環境創造センターホームページ

環境創造センターの取組みや、客員研究員が持つ様々な研究情報をホームページへ掲載し、情報発信している。

U R L <http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyoku/060kankyoku/00004434040203/souzou/>

### 4 愛媛県原子力情報ホームページ

県の放射線監視テレメータシステムで常時収集している伊方発電所周辺測定局の放射線データ（空間放射線線量率等）等を、リアルタイムで提供している。

また、伊方発電所の運転状況等の最新データ、伊方発電所の異常時通報連絡に係る県の報道発表資料、伊方原子力発電所環境安全管理委員会の開催状況等の原子力情報を、随時提供している。

U R L <http://etelmtsv.pref.ehime.jp/>

### 5 えひめの循環型社会づくりホームページ

県内における廃棄物の減量化・リサイクルに関する取組を促進するため、3Rイベント・グループ及びリサイクル製品の紹介や循環資源交換情報などを盛り込んだ「えひめの循環型社会づくり」ホームページを作成し、広く県民に情報提供している。

U R L <http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyoku/140junkanshakai/00004731040517/index.html>

## 6 地球環境の保全に関する情報提供

### 地球温暖化対策普及啓発ビデオ

- ・内 容 地球温暖化の原因や影響、愛媛県地球温暖化防止指針、家庭でできる地球温暖化対策などの紹介
- ・規 格 映像時間15分（カラー）：アニメーション主体の映像
- ・作成本数 350本
- ・配 布 先 保健所等県関係機関、市町村、環境NPO等

### 地球温暖化パンフレット

- ・内 容 愛媛県地球温暖化防止指針、家庭でできる地球温暖化対策などの紹介
- ・規格及び部数 A4版 4ページ 35,000部
- ・配 布 先 保健所等県関係機関、市町村等

## 7 ごみの減量・リサイクル推進の啓発（第2部第2章第3節参照）

ごみ減量・リサイクル推進週間（5月30日～6月5日）、3R推進月間（10月）に併せて啓発用ポスターを作成し、市町村等に配布するとともに、エコライフ情報誌「合言葉は3R」の編集発行、容器包装リサイクル法普及啓発リーフレット「ごみをふたたび資源へ」の作成などを通じて、ごみの減量・リサイクルの推進について意識啓発を図っている。

### 第3節 環境保全意識の高揚

#### 1 「環境の世紀を拓く 循環型ゼロエミッション社会の創造」フェアの開催

環境の世紀といわれる21世紀を迎えるに当たり、行政や企業の取組を紹介するほか、21世紀を担う子ども達や一般県民を対象に「環境」と「資源循環型社会」の大切さを訴え、県民の環境保全意識の高揚を図るため、愛媛新聞社や松山市などと共同してフェアを開催した。



- ・日 時 平成15年5月31日（土）～6月1日（日）
- ・会 場 松山市総合コミュニティセンター
- ・内 容 こども環境会議（県内小学校の事例発表、討論会）、環境ミュージカル、展示会、フリーマーケットの開催など
- ・参加者 約2万人

#### 2 環境啓発図画コンクール

環境意識啓発用図画を小・中学生対象に募集することにより、環境教育の一環とするとともに、県内各所に配布することにより、県民の環境保全意識の高揚を図った。

- ・募集対象 県内小学生・中学生
- ・募集期間 平成15年4月1日（火）～平成15年5月16日（金）
- ・応募点数 146点（小学生75点、中学生71点）
- ・最優秀賞 2点（小学生1点、中学生1点）
- ・優 秀 賞 10点（小学生5点、中学生5点）
- ・掲 示 ・「環境の世紀を拓く 循環型ゼロエミッション社会の創造」フェア
- ・環境白書、こども環境白書

#### 3 クリーン愛媛運動

- ・目 的 豊かな自然と風土に恵まれたふるさと愛媛の住みよい快適な生活環境を創造する。
- ・運動内容 昭和52年度から7月をクリーン愛媛運動強調月間、また、フェア開催の様子国が定めた環境衛生週間（9月24日～10月1日）中を秋のクリーン愛媛運動実施週間とし、県民意識の啓発と県民総参加による河川、海岸、道路、公園等公共施設などの清掃美化活動を展開しており、平成15年度は、延べ約36万5400人の県民の参加を得て環境美化活動を実施した。

#### 4 ふるさとづくり顕彰事業

地域住民、企業等が自主的・主体的に取り組んでいる地域特性をいかした地域づくり活動並びに地域の風土と調和し、優れた景観形成に寄与している建造物を表彰することにより、県民の地域づくりに対する意識の高揚を図るとともに地域づくり活動の促進を図った。

なお、平成13年度より、県民の全てが環境保全活動に参加する社会づくりの一環として、ふる

さと愛媛創造賞の表彰対象に、環境学習活動（環境情報提供を含む。）及び環境に配慮した企業活動を加えた。

ふるさと愛媛創造賞（活動部門）

- ・ 目 的 地域住民、企業等が自主的、主体的に取り組んでいる地域づくり活動の顕彰
- ・ 被表彰者 新宮あじさいグループ（新宮村）  
ODAの木協会（小田町）

えひめアメニティ賞（建造物部門）

- ・ 目 的 地域の優れた景観の形成に寄与している建造物の顕彰
- ・ 被表彰者 松野町ふれあい交流館（松野町）



新宮あじさいグループ（新宮村）



ODAの木協会（小田町）

## 5 自然保護思想の普及啓発

県内のすぐれた自然を県民共通の財産として守り、育て、次の世代に引き継いでいくために、自然保護思想の普及啓発に努めている。

### (1) 「えひめ自然に親しむ集い」の開催

直接自然とふれあう中で、自然に対する理解を深めるとともに自然保護意識の啓発を図るため、一般県民を対象に「えひめ自然に親しむ集い」を開催した。

- ・ 開 催 日 平成15年10月25日
- ・ 参 加 者 63名
- ・ 場 所 朝倉村緑のふるさと公園（朝倉村）
- ・ 内 容 アトラクション、クイズ、自然体験活動、草木染め

### (2) 親子愛鳥教室の開催

豊かな自然の中で親子と一緒に野鳥とふれあいながら、野鳥に関する様々な知識を習得し、自然保護の大切さを理解できるよう、県内の小中学生とその保護者を対象に平成8年度から毎年「親子愛鳥教室」を開催しており、平成14年度の開催状況は次のとおりである。

- ・ 開 催 日 平成15年5月17日
- ・ 参 加 者 59名
- ・ 場 所 えひめ森林公園（伊予市）
- ・ 内 容 野鳥の生態等に関する講義及びバードウォッチング

### (3) 愛鳥ポスターコンクール

愛鳥週間（5月10日～16日）を機会に、広く県下の児童及び生徒から愛鳥週間用ポスター原画を募集し、その製作過程を通じて野生鳥類について保護思想を高めるとともに、一般県民への普及、啓発を図るため、愛鳥ポスターコンクールを実施しており、平成15年度の応募及び表



表彰状況は次のとおりである。

・応募者数 252名（32校）

（内訳）小学校：132人（14校）

中学校：52人（9校）

高等学校：68人（9校）

・入選者数

金賞（知事賞）：9点（小学校3、中学校3、高等学校3）

銀賞（愛媛県自然保護協会会長賞）10点（小学校6、中学校2、高等学校2）

銅賞（ ” ” ）11点（小学校7、中学校2、高等学校2）

佳作（ ” ” ）14点（小学校6、中学校3、高等学校5）

## 6 省資源・省エネルギー運動推進事業

省資源・省エネルギー運動を県民運動として推進し、県民意識の高揚を図るため、省資源・省エネルギーポスターの募集や省エネ・リサイクル親子見学会を実施したほか、リーダー研修会を実施するとともに啓発資料の作成・配布を行った。

### (1) 省資源・省エネルギーポスターの募集

小・中学生を対象に省資源・省エネルギーをテーマとするポスターを募集し、省資源・省エネルギーに関する意識を高めるとともに、作品展を実施し広く普及啓発を図った。

・応募作品数 255作品（小学生 143作品、中学生 112作品）

・入賞作品数 最優秀賞（2作品）優秀賞（9作品）佳作（27作品）

### (2) 省エネ・リサイクル親子見学会

環境にやさしいライフスタイルへの転換を推進するために、省エネ・リサイクルをテーマに親子で考える見学会を実施した。

・実施日 平成15年8月5日

・見学施設 ペットボトル再生処理事業所、松山市南クリーンセンター、えひめエコ・ハウス

・参加人数 33名

### (3) 省資源・省エネルギーリーダー研修

省資源・省エネルギー運動の担い手である地域のリーダーを集めて、省資源・省エネルギーに対する意識を高め、さらに活動の輪を広げていくことをねらいとして研修を行った。

・開催場所 県女性総合センター 研修室

・開催日 平成16年2月27日

・参加者数 16名

### (4) 啓発資料の作成・配布

啓発リーフレットを7,000部作成し、省エネルギー月間（2月）に配布した。

## 7 暮らしの中の省資源問題啓発事業

省資源・省エネルギー・リサイクル運動について、効果的な意識啓発や生活に根ざした実効性の高い運動を展開するため、資源の再利用研修会や省資源に関する講習会等を開催し、省資源に

についての意識啓発を行った。

- ・委託先 えひめ生活センター友の会
- ・実施状況 資源の再利用研修会・省資源に関する講習会・展示会等 33回（松山市他）

## 8 エコファミリー育成啓発事業

環境家計簿（家庭で消費する電気やガス、灯油、ガソリンなどの使用量や家庭から出されるゴミや缶、ビンの量を記帳することによって、各家庭の二酸化炭素排出量を計算できるもの）の作成やモニターを募集するとともに、環境にやさしい買い物キャンペーン（10月）の実施やエコファミリー育成講座を開催し、資源の節約とゴミの減量化や家庭の省エネ意識の高揚を図り、環境に配慮したライフスタイルへの転換を推進した。

### (1) 環境にやさしい買い物運動の推進

「買い物」を通して地球環境や廃棄物などの環境問題を考え、環境に配慮したライフスタイルの実践を促進するために、マイバッグの持参や環境に配慮した商品の販売・購入、簡易包装の促進等を内容とする「環境にやさしい買い物キャンペーン」を10月に実施するとともに、マイバッグモニター（100名）を募集した。

### (2) エコファミリー育成講座の開催

各地方局ごとに、環境家計簿普及講習会を開催（表2 - 13 - 4 参照）した。

表2 - 13 - 4

地方局	開催場所	開催年月日	参加者数
西条	土居町天満公民館	平成15年9月24日	25人
今治	今治地域地場産業振興センター	平成16年2月27日	84人
松山	松山地方局会議室	平成15年9月18日	30人
八幡浜	内子町文化伝習センター	平成16年1月29日	152人
宇和島	宇和島地方局会議室	平成16年2月26日	62人

### (3) 環境家計簿の作成・配布

えひめ環境家計簿（A4判、20頁）を4,000部作成し、地方局、市町村、消費者団体等を通じ、希望者に配布した。

### (4) 環境家計簿モニターの募集

省エネや環境問題に関心の高い20歳以上の県民から50名の環境家計簿モニターを公募し、講習会の受講、環境家計簿の記帳（夏季冬季各3箇月）及び記帳体験に基づく提言を求めた。